

第 7 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和5年8月23日（水）

開催時間 午後 3 時 30 分から午後 4 時 25 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 降旗 友宏
教育長職務代理者 小澤 幸子
委員 橋本 幸子
委員 梶 浦 陽

出席職員 教育次長 河野 公紀
教育監 市川 敏也
教育監 初鹿野 仁
次長（総務課長） 小林 洋一
教育企画室長 岩出 修司
福利給与課長 永井 研一
学校施設課長 白須 慎一
義務教育課長 小池 孝二
高校教育課長 萱沼 恵光
特別支援教育・児童生徒支援課長 鷹野 美香
生涯学習課長 平賀 貴久子
保健体育課長 山田 芳樹

総務課
総括課長補佐 齊藤 七二
課長補佐 河野 敏三
主査 小池 涼子
主事 中野 友嗣
高校教育課
人事管理監 塩沢 和明
副主幹・指導主 佐田 薫
特別支援教育・児童生徒支援課
主査・指導主事 上嶋 宏樹
生涯学習課
課長補佐 杉本 美紀

傍聴人 0 名

報道 1 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

岡部委員の任期満了に伴い、7月25日付けで就任された新しい委員、梶浦委員の紹介があった。
教育長職務代理者については、松坂委員に加え、新たに小澤委員が指名されたことが報告された。
松坂委員、長澤委員から都合により会議を欠席する旨の届出があった。
議案第14号「職員の処分について」は個人情報に関する案件である旨の発言が教育長からあり、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

1 議 案

第 13 号 令和6年度使用山梨県高等学校及び特別支援学校用教科用図書採択について
〔説明〕 高校教育課

小澤委員 特別支援学校の場合は一人ひとりに合った教科書を選んでいくということですが、対象となる生徒は何人くらいいて、先生方の負担はどのようなものなのでしょうか。

上嶋指導主事 約1,000人程度です。教科書選定はだいたいチームで行っており、2、3人の生徒に対して1人の先生の割合になっています。毎年記録に残しながらそれぞれの生徒の発達段階に合った教科書を選んでいきます。

小澤委員 他県も同じような流れで行っているのでしょうか。

- 上嶋指導主事 はい。他県もすべて同じような教科書採択の流れになっております。
- 小澤委員 ほとんどオーダーメイドですね。
- 上嶋指導主事 特別支援学校では全く同じ発達段階の生徒はいないため、生徒一人ひとりの発達に合わせたものになっております。
- 教育長 本日、一部の教科書を持ってきて並べてありますので、どうぞ手に取って最近の教科書がどのようになっているのかご覧ください。
- 梶浦委員 知的の程度によって教科書は違っていて、そこは先生方が判断するということでしょうか。
- 上嶋指導主事 はい。程度により、ひらがなの教科書を使う生徒もいれば、音が鳴る教科書を使う生徒もいたり様々です。
- 梶浦委員 手厚いですね。
- 上嶋指導主事 教育の原点ということで、先生方も心得て行っております。
- 小澤委員 山梨県は小さいので、そのスケールメリットから先生方もここまで細かくできてるのかなと思いました。
- 教育長 先生の好みの教科書をそのまま上げるということではなく、教科書採択の権限は教育委員会にあります。教科書自体のミスというものは国による検定を受けているのでないと思いますが、教科書の中身は地域性や重視している点など特徴がありますので、各学校でどこに比重をおくべきかということで選定に差が出てきます。教科書数は非常に多く、私たちがすべてをチェックすることはなかなか難しい部分があるのですが、各学校でしっかりとやっているという前提で、私達で決めていくという位置付けで本日は審議するものであります。私からよろしいですか。高校の教科書で今回新規採択の教科は何でしょうか。
- 萱沼課長 高校3年生で新たに教育課程に入ってきたものなどが該当します。例えば数Ⅲとかです。

【原案どおり決定】

第14号 職員の処分について

〔説明〕 高校教育課
(非公開：会議の要旨)

職員の処分について、事案の経緯、処分の概要、今後の対応等の説明を受け、全委員の賛同により原案どおり決定された。

【原案どおり決定】

2 報告事項 な し

3 その他報告

- (6) 青少年保護育成のための環境浄化に関する条例施行規則の一部を改正する規則
〔説明〕 生涯学習課

【 了 知 】

〔 教育長閉会宣言 〕

以 上